



アエファ AEFA通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

http://blog.canpan.info/aefa/

第4回AEFAフォーラム ～アジアの輪を拓けよう～ 11/1(日)開催されました！ 於：日本財団ビル

76名のご参加を頂き、盛会のうちに無事終了しました。6校10名の先生・児童による交流事例発表及び現地視察報告が行われました。

** ワンコイン・スクールPJ **

仙台市立広瀬小菊地校長先生：

PJ共同発進校としての経緯と、ラオスの活動を通して6年生の「生きるを学ぶ」取り組みを中心に発表。「ポンタンとの交流をどのようにつないでいくかが課題です。」



鬼形駿くん：お母さんにラオスの現状を聞いて、力になりたいと活動に自主参加。がんばりカードや思いやりカードで貯めたお金を、理事長に贈呈しました。



「ラオスの気候にあった、ラオスらしい学校を作りたいです」との夢に、「いい学校を作るよ！」と、理事長が固く約束しました。

武蔵村山市立第八小 小野江校長先生：

「このPJは、子どもによる子どものための活動。ふだんはほとんどお手伝いをしない子達が、10円の重みを感じながら夏休みに頑張った。何より大事なのは子どもたちの国際支援が小さな力であってもつながっていく、自己実現を感じられることです。」



** 現地視察の先生方による発表 **



須川美奈子先生 長岡季和先生



駆けつけてくださった榮校長先生方

* ベトナム ～ 港区 芝小 *

先生方がベトナムで撮影・作成されたオリジナル映像で、芝小の子どもたちにベトナムを伝える交流授業を全学年で実践。「現地では、ベトナムの教育の誇りを感じた。子どもたちの明るさ・まじめさ・しつが身につけていること・手先の器用さを感じた。」「交流は、学年の実態に合わせて取り組むことが大切。」「視野を広げ、違いをみとめあい、自分を振り返ることで誇りをもったり向上心をもってほしいと願っています。」

芝小では、来年度から国際交流委員会を立ち上げ、新聞や全校集会などで異文化を伝える活動を行う予定です。

* ラオス ～ 福島県 東館小 *

小松光恵先生が、昨年度の取り組みと実践を報告。子どもたちのがんばりや気付き、「変化」を紹介されました。

ラオス視察から戻られてずっと、ラオスの子どもの瞳の輝きのわけを考え続けた宍戸仙助校長先生。

「ラオスの村には電気もテレビも無いが、時間はたくさんある。受身ではなく、自分から人・もの・自然に工夫をして働きかけ、そして得られる喜び・楽しさ。自分が役に立っている存在だという自己有用感。これが瞳の輝きにつながっているのではないかと。夢と希望は、与えようとすると、自分にそれが返ってくる。ラオスの友だちとの交流で、東館小の子どもたちは、夢と希望に目覚めました。そして何よりもまず教員自身に、夢と希望が必要なのではないか。」



* ラオス ～ 横浜市 二俣川小 *

中野悟先生から、現地で運動会を紹介した様子を報告。「子どもたちの手作り」を大切に、持参したバトンは掃除用モップの柄、はちまきはミシンで手縫いし、メッセージを入れました。競技を説明する壁新聞も、頑張ってラオス語を調べながら作りました。子どもたちを整列させるのに苦労したことや、真剣なまなざし、キャッキヤと楽しそうに取り組む子どもたちの反応を紹介。山岳地帯へも行かれた小林宏先生からは、助け合って生きる現地の人々との出会いがありました。「ラオスから学ぶことはたくさんある。人間が幸せなときは、お互いが信頼しあって未来に向かって進んでいるときだと、理屈ではなく強く感じた。この経験と考えたことを、多くの人に伝えていきたい。」



第2回 AEFA交流大賞 決定！

今年もみなさまの投票で、2校が決定しました。

交流大賞 「福島県矢祭町立東館小学校」

AEFA賞 「横浜市立二俣川小学校」

交流には様々な取り組みがあること、単にアジアとの交流というだけでなく、日本文化の見直し、生きる上での様々な気づきや将来への可能性を広げる実践が、受賞されました。



東館小 宍戸校長先生 小松教諭



二俣川小 瀬野尾校長先生

「第4回AEFAフォーラム」は、財団法人三菱UFJ国際財団様のご支援をうけて、実施しました。



フォーラムの感想頂きました

ただ「実践しました！」だけではなく、実際の学校現場でどのようにすればみんなに想いを広げていけるか、などのヒントもたくさん頂きました。どんな職業でも人の出会いは「財産」だし、あんな風に世代や職種を越えてみんなで夢を語り合えるのってすばらしいなあと思いました。
(交流校・M先生)

「AEFAフォーラム」はとてもよかったです。報告・発表された先生方も、みんな志が高く、聞いていて胸が熱くなりました。日本の学校教育も、まだまだ捨てたものではないと、想いを強くしました。
(会員・Kさん)

皆さんの熱い気持ちが伝わってきました。「子どもたち主体の交流でありたい。」わたしも同じように考えています。熱い気持ちを少しさまして、ゆっくり進めることが大切だと考えています。
(F先生)

毎年のことながら参加すると、他校の事例をたくさん知ることができ、参考にしたいなと思いつつ、また忙しい日々を追われてしまう感じです。なかなか交流の深まりを感じるところまで到達できませんが、委員会やクラブの時間を使って、これまでやってきたことを続けていければなと思っております。
(交流校・S先生)

年々発展していく様子を拝見し、本当に素晴らしいと思っています。毎回参加するたびに、たくさんの方々とお会いでき、また、さまざまな考えに触れることができ、とても勉強になっています。
(交流校・E先生)



第1回矢祭町 手作り絵本コンクール佳作入選!

「手作り絵本コンクール」で、2008年度橘幼稚園卒園委員会作成の「タバンくんのいちにち」が佳作に入選しました! 審査委員の柳田邦男先生から「ラオスの子供達のいきいきとした表情が非常にしっかりした絵画力、描写力、スケッチ力によって表現されていて、矢祭の子どもたちにも、ああインドシナのあたりに住んでいる子供達はこういう環境の中に住んでいるし、こんな表情をしているんだ、素直にそれが伝わりました。」との講評を頂きました。



おめでとうございます!

11/3(火) 第10回シルバーアーチ開催されました

2010年度建設校 ラオス ピアラー小学校を支援されている「やすらぎの部屋」様のチャリティイベントが、今年も湘南・藤沢で開催されました。当日は、これまでで1番の多くの来場者があり、各ブースも大賑わいでした。AEFAもアジア雑貨のブースで参加、みなさまにピアラーについてお話もさせていただきました。このイベントの収益の一部が、基金として学校建設のために使われます。ありがとうございました!



グレンチェック様のご支援が決まりました

グレンチェック株式会社様による、ラオス サラワン県山岳地帯ジョーハイ分校への机・椅子のご支援が決まりました。

「私達は世界の中で幅広く活動する企業として、今回AEFAの活動への参加をさせていただくことになりました。教育が経済的自立、また人生における自助の一つの手段として重要なものであるという考えの下、学校への机や椅子の寄付を選択させていただきました。私達の活動が1人でも多くの子供達の教育の一助となることを心から願っています。」



11/18(水) 船橋市研修に参加しました

船橋市教育委国際教育部会の研修で、小学校の先生方にAEFAのフレンドシップ交流をご紹介しました。「交流を通して、子どもたちの変化は?」「ワンコインPJは、取り組みやすいし、とてもいい活動だと思います」等の講評を頂きました。



AEFAからのお知らせ

アジアへの作品を、お待ちしております!

現地でも、日本の友だちからの作品を待っています! AEFA事務所までご連絡 またはご送付下さい!